令和7年度　置賜広域病院企業団　決算の概要

令和８年１０月
置賜広域病院企業団

１　決算の概況

（１）企業団の決算の概要

○ 医業収支は、医業費用の増加により、前年度比で９億 1,700 万円悪化し、34 億 5,600 万円の赤字となった。

○ 医業収支に医業外収支を加えた経常収支は、前年度比で５億 600 万円悪化し、10 億 6,600 万円の赤字となった。

○ 経常収支に特別損益を加えた総収支は、前年度比で３億 9,400 万円悪化し、12 億 300 万円の赤字となった。

（２）令和7年度決算（単位：百万円）

※ 端数処理により、合計額が一致しない箇所がある

科目		企業団	基　幹	サテライト
収入	医業収益 ①	15,281	13,336	1,945
	対前年比	＋87	＋11	＋76
	医業外収益 ②	3,274	2,286	988
	対前年比	＋423	＋334	＋89
	特別利益 ③	52	52	0
	収入合計 ④(①＋②＋③)	18,607	15,674	2,933
支出	医業費用 ⑤	18,736	16,141	2,595
	対前年比	＋1,004	＋946	＋58
	医業外費用 ⑥	885	788	97
	対前年比	＋11	＋10	＋1
	特別損失 ⑦	189	59	130
	費用合計 ⑧（⑤＋⑥＋⑦）	19,809	16,987	2,822
医業収支 ①-⑤		▲3,456	▲2,805	▲651
対前年比		－917	－935	＋18
経常収支 ①+②-⑤-⑥		▲1,066	▲1,307	240
対前年比		－506	－611	＋106
総収支 ④-⑧		▲1,203	▲1,313	111
対前年比		－394	－594	＋200

（３）病院ごとの医業収支の概要

基幹病院　診療単価の上昇により医業収益は増加したものの医業収支は悪化

総合病院　入院・外来延患者数は減少したが、外来診療単価の上昇により医業収益は増加した。一方、給与費や委託料等の医業費用も増加した。医業収支は前年度比で７億 6,200 万円悪化し、21 億 6,600 万円の赤字となった。

救命救急センター　延患者数の減少により医業収益は減少した。一方、給与費や委託料等の医業費用も増加した。医業収支は前年度比で１億 7,400 万円悪化し、６億 3,900 万円の赤字となった。

長井病院　患者数の増加等により医業収支が改善

入院・外来延患者数の増加及び地域包括ケア病床※の増床等により医業収益は増加した一方、給与費や材料費等の医業費用も増加した。医業収支は前年度比で 1,400 万円改善したものの、３億 3,100 万円の赤字となった。

南陽病院　地域包括ケア病床の増床等により医業収支が改善

地域包括ケア病床の増床※等により医業収益は増加した一方、医業費用は横ばいであった。医業収支は前年度比で 800 万円改善したものの、２億 7,900 万円の赤字となった。

川西診療所　患者数の減少等により医業収支が悪化

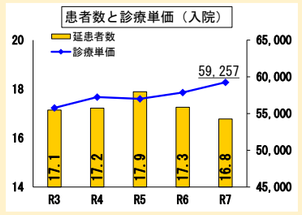
患者数の減少により医業収益は減少した。一方、材料費の減少等により医業費用は減少した。医業収支は前年度比で 400 万円悪化し、4,100 万円の赤字となった。

※ 地域包括ケア病床：急性期治療後の患者や在宅・施設からの受け入れ患者に対し、治療、リハビリ、退院支援を行い、在宅復帰を支援する病床

２　患者の概況

（１）入　院

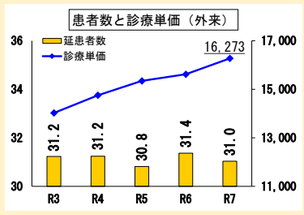
○　入院収益は、診療単価が上昇したが延患者数が減少し、4,200 万円減少した。
○　延患者数は 167,817 人で、前年度比で 4,769 人減少した。
○　診療単価は 59,257 円となった。基幹病院は、整形外科・神経内科等の高単価の診療の増加及びリハビリテーションの増収等により、1,733 円上昇した。サテライト医療施設は、1,379 円上昇した。（内訳は、両施設とも地域包括ケア病床患者が増加したこと等で、長井病院は 1,473 円、南陽病院は 1,323 円上昇）



	入院収益（百万円）		延患者数（人）		診療単価（円）	
	R7年度	対前年	R7年度	対前年	R7年度	対前年
企業団全体	9,944	－42	167,817	－4,769	59,257	＋1,391
基　幹	8,906	－103	135,824	－5,304	65,567	＋1,733
サテライト	1,039	＋61	31,993	＋535	32,468	＋1,379

（２）外　来

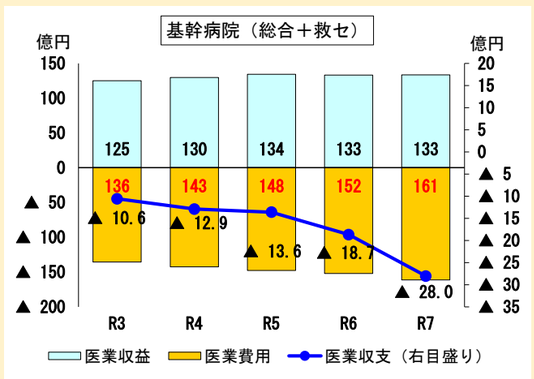
○　外来収益は、延患者数が減少したが診療単価が上昇し、１億 5,100 万円増加した。
○　延患者数は 310,337 人で、前年度比で 3,350 人減少した。
○　診療単価は 16,273 円となった。基幹病院は高額注射薬の増加等により 757 円上昇した。サテライト医療施設は、388 円上昇した。（内訳は、長井病院は在宅関連指導料の増加等で 515 円、南陽病院は検査件数の増加等で 297 円上昇、川西診療所は高額注射薬の減少により 119 円低下）

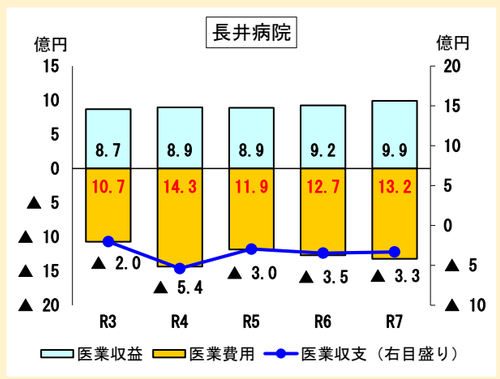


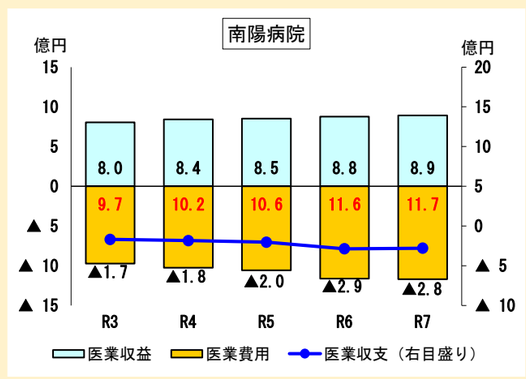
	外来収益（百万円）		延患者数（人）		診療単価（円）	
	R7年度	対前年	R7年度	対前年	R7年度	対前年
企業団全体	5,050	＋151	310,337	－3,350	16,273	＋655
基　幹	4,198	＋127	220,153	－2,160	19,070	＋757
サテライト	852	＋24	90,184	－1,190	9,448	＋388

３　各 指 標

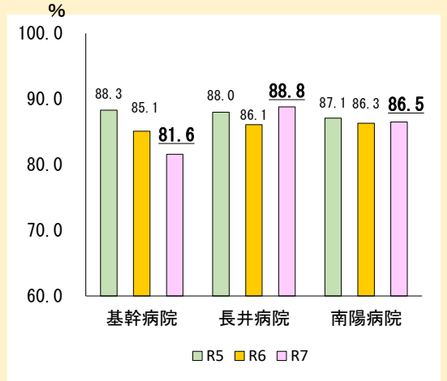
３病院の医業収支







病床利用率（一般病床）



平均在院日数（一般病床）

